

Scramble Shot

ファンが集まる7月6日、モーツァルト《魔笛》(再演)初日終演直後のバイエルン州立歌劇場の舞台上に、ニコラウス・バッハラー総裁が現れた。「普通、舞台上に総裁が現れるとろくな知らせではありませんが、終演後なら心配いりません。今日は『バイエルン宮廷歌手』の称号を授与するために登場しました」と、さすが元俳優の話し方で観客を惹き付けた。

1列に並ぶキャストの中からゆっくり前に出てきたルネ・パーベは、ザラストロ用の18世紀僧侶ふう衣裳に似合わない満面の笑みを浮かべ、徽章を受け取った。パーベはこのところ、以前ほどの輝きは見られないものの、間違いなく、いまだに世界を代表するバス歌手の一人であり、バイエルン州立歌劇場では重要な役に起用され続けている。2015年のシーズン・オープニングを飾った新演出のボーイト《メフィストーフェレ》の、板についた現代的悪党ぶりは、来シーズンも見ることができる。

コメントを求められると、「ドレスデンでもこのような栄光はまだ授かっていない」とおどけて、笑いを取った。出身地ドレスデンで学んだパーベは、在学中にデビューしたベルリンの地で2000年、すでに宮廷歌手に認定されているため、出身地への軽い皮肉と催促が含まれているのだろう。しかし「これからも、この歌劇場との素晴らしい関係が続けていけたら嬉しい」と結んだパーベの言葉には、彼の真心がこめられていた。

(中 東生)



「バイエルン宮廷歌手」の称号を受け、同僚全員から祝福され、劇場への感謝を示すパーベ ©中 東生

Opera ルネ・パーベに「バイエルン宮廷歌手」の称号

今年もミュンヘン・オペラ・フェスティバルが始まり、ドイツ南部の音楽都市ミュンヘンにっそう多くのオペラ・